

日野小学校での研修会に学習支援ボランティアの学生が講師として参加

2016年6月16日、海外にルーツを持つ児童・生徒に関する研修会が、京都市日野小学校の教職員を対象として実施されました。安里和晃文学研究科特定准教授が講師として招かれ、また学習支援ボランティアに従事する学生2名、岡田眞太郎さん（地理学専修M1）、伊藤拓馬さん（社会学専修4回生）も学習支援の経験について講演をおこないました。岡田さんは、「小学校の教職員や学生支援ボランティアだけではなく、地域住民が一体となって多様な児童・生徒の支援にかかわることができればいいのではないだろうか」という、地域の視点を打ち出しました。伊藤拓馬さんは、ひとり親家庭で暮らす海外ルーツの児童・生徒の厳しい生活環境・学習環境に共感しつつ、支援にかかわることの大切さについて論じました。